



飯能ロータリークラブ会報

桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

インスピレーションになろう

RI会長 バリー・ラシン

2570地区ガバナー 茂木 正

第3グループ
ガバナー補佐 細淵 克則

「想いを繋ぎ 地域と国の発展に奉仕する」

第2847例会 2019. 3. 13

水と衛生月間

天候 晴 (NO. 55-37)

会長 島田秀和 幹事 馬場正春

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 藤原君、福島君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 東京電力パワーグリッド(株)川越支社飯能事務所内 〒357-0021 飯能市双柳353-4

☎(042)974-3111(代) FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@titan.ocn.ne.jp

- ・点鐘 島田会長
- ・ソング 我等の生業 四つのテスト
- ・卓話 大野正幸会員 森田美明会員

【会長報告】

10日、細田(吉)会員の「山手介護」の「感謝の集い」は多くの会員が参加され盛大に行われました。読売(2/25)に、S39年から半世紀で平均寿命が15才伸びたとの記事。男性67→81才、女性70→87才。100才以上は191人→69,785人。細田(吉)会員も第一線を退かれましたが益々頑張ってください、若い会員への変わらぬご指導をお願いしたいと思います。

【幹事報告】

次週は休会。4/3理事会です。
◎例会変更のお知らせ
◇入間RC
・4/11(木) 地区大会に振替
・4/18(木) 入間南との合同夜間例会に振替
・5/2(木) 定款8-1-Cにより例会取止め
・5/23(木) 日帰りR美術館

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 吉澤君・中山君
5/12・13 親睦旅行(奈良~新緑と世界遺産めぐり) 奈良ホテル泊。85,000円/人。(タビックスジャパン 大久保様: 98年、遺産登録された社寺見学。奈良公園、春日大社、東大寺、唐招提寺、薬師寺、法隆寺。東京駅まで大型観光バス)ご参加をお待ちしております。
4/18(木)飯能日高合同親睦ゴルフコンペ(高麗川CC)。懇親会「ヘリテージ」。ご参加の程よろしく。
◎次年度幹事 中里(忠)君
次年度役員委員長顔合わせ会(3/18 出欠締切)。
次年度座談会、ご都合つかない方はお知らせ下さい。
◎雑誌委員会 吉田(健)君
「ロータリーの友3月号」横組P22「ガバナーエレクト in 国際協議会」(1/13~19 サンディエゴ)のもよう。
当地区の鈴木ガバナーは2回目だそうです。

◎細田(吉)パスト会長より会社創立60周年記念の御礼

【出席報告】無届欠席0 細田(伴)出席向上委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
61名	6名	52名	85.25%	80.33%

修正出席率が悪いので是非MUをお願いします。

【M U】

3/10 (地区) 土屋(崇)君

【結婚・誕生日祝】

五十嵐親睦活動委員

◇喜寿おめでとう 杉田一昭君

◇入会記念日おめでとう
中里(昌)君、柏木君、市川(昭)君

◇結婚記念日おめでとう
川口君、矢島(尚)君、服部君、杉田君、吉田(行)君

◇会員誕生日おめでとう
1 大野(康)君、2 小川君、13 杉田君、24 柏木君
25 石井君、30 前島君

◇夫人誕生日おめでとう
5 神田(敏)夫人、6 吉島夫人、12 伊澤夫人、13 吉澤夫人
17 鈴木夫人、18 土屋(良)夫人、31 田中夫人

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・先日、弊社60周年で大勢の方に出席して頂き有難うございました。 細田(吉)君
- ・会議所会館建設には多くの方々から協賛金を頂きつつあり有難うございます。そのお蔭かと思いますが昨日80名位のゴルフコンペで準優勝し素晴らしい賞品を頂きました。 矢島(敏)君
- ・矢島(敏)さんは色々な所で大活躍です。運も一番ついでいます。先日のゴルフ、準優勝です。 山川君
- ・大野さん森田さん良い話を聴かせて下さい。 新井(景)君
- ・喜寿を迎えました。これからもよろしく申し上げます。 杉田君
- ・結婚記念日お祝い有難うございます。 吉田(行)君、矢島(尚)君、川口君、杉田君
- ・誕生日お祝い有難うございます。 小川君、大野(康)君、杉田君

・入会記念日お祝い有難うございます。 中里(昌)君
・妻の誕生日お祝い有難うございます。 吉島君
土屋(良)君、吉澤君、伊澤君、田中君、神田(敬)君
本日計 60,000 円、累計額 756,001 円。
◎ 27 日例会当番は細田(伴)、平沼会員です。

【卓 話】

講師紹介

福島プログラム委員長

イニシエーション・スピーチ

大野正幸会員 (紹介者:新井景三会員)

森田美明会員 (紹介者:矢島高明会員)



大野(正)会員:「職業分類:林業」で入会しましたが、私自身はチェーンソーを扱った事は無く、枝打ち等も子どもの頃見よう見真似でした位でした。市職員として定年まで勤め兼業林家としてきたのは社会の流れと同じでした。社会人になってからも、父に連れられてたまに伐採木の調査等に行った位。80年代「地球温暖化」という言葉を耳にするようになり、88年『地球環境報告』が発刊されます。「西川林業クラブ」に属し、林業の授業を各小学校で行っていた私には実務ストックが無く、何を話せばよいか考えている時でしたので「温暖化抑止に林業が大切」という事を知ってもらうように努めました。行政として林務に携わったのは5年前。1年間「西川広域森林組合」に派遣され、現実的林業に目を向ける事になりました。継続意思のある人を対象に集団的に整備を図るといふ「森林経営計画制度」は国の施策の抜本的改革で、間伐推進、針広混交林等は新しい動向で、若者の就労も見られました。大概の山は重機で作業道が造られる事も分かりましたが、労務等の厳しい林業の現実も目の当たりにしました。

4月に「奥武蔵創造学園」となる西川小は家からよく見えます。小高い山だった所に土埃が上がり突如大きな平面と建物が現われた事は子どもの私にとって大きな衝撃でした。校舎は縄文/平安遺跡の上に建ち、近くにはヤマトタケル東征伝説の残る「借宿神社」がある事も、私の古代史への興味に影響しています。復原の成った奈良・平城京「大極殿」の柱の1本には西川材が使われております。

わが家では昔、山の仕事師を数人雇っていました。彼等は毎朝縁側で茶を飲みながら談笑し、帰ると土間で漬物を肴に湯飲み茶碗でお酒を飲みました。祖母、父の間に私もお菓子をもって加わったものです。植林時期には双柳から筵で俵のようにくるまれたスギ・ヒノキの苗がトラックで運ばれて来ました。山の至る所に枝打ちされた枝があり、それでテントのような基地を作って遊んだ事もよく覚えております。

東吾野地区行政センター敷地内「菅原道真公銅像」は2m超(他には高尾山の麓に一回り大きな銅像がある位)。これは東京で木材業を営む東吾野尋常高等小学校卒業生の有志がS15年、母校に寄贈したものです。当時、深川の木材問屋組合は東吾野地区出身者が力をもっており、財力があつたものと思われまふ。飯能銀行(埼玉りそなの前身の1つ)の最初の支店は南千住で、木材業の資金を取り扱っていました。菅公像は阿里山ヒノキで造られた立派なお堂に納められています。この像を作った彫刻家・長谷川塊記氏の代表作「弘法大師木像」が横浜・中区本牧の博物館に収蔵されているご縁で、東吾野と本牧根岸の住民は独自に交流を行っています。余談ですが、飯能出身で横浜で事業を起こし、のちに武蔵野鉄道の初代社長となった平沼専蔵氏の墓は、かつて元町・中華街駅にありました(現在は移転)。まさか生まれ故郷と電車が直通で結ばれるとは思っていませんでした。

林業は昔ながらの産業と言われたりもしますが、それは木の成長と共に出来る産業だからだと思います。しかし、国税として森林環境税の導入も予定され今後は最先端の産業になっていくのではないのでしょうか。欧州ではCLT工法による木材のビルも現われ始めています。鳥獣対策としてのジビエ活用も林業の一分野。メツァが開園しますが、フィンランドは有数の林業国であり飯能にフィンランド式林業を取り入れる事も考えられます。育林に携わる方のお蔭をもちまして私も再就職し大学で勤めを続けております。「林業」で入会させて頂いた事を契機に、林業、山林管理に真剣に向き合っていきたいと思ひます。どうぞご指導よろしくお祈りいたします。



森田会員: S 30年、飯能市北川に生まれ育ち、現在も北川で過ごしております。出身の北川小、吾野中は共に廃校となっています。秩父農工高等学校の林業科に進学した当時、父から「うちには山が無いだから山の手入れや枝打ちを教わっても何もならないぞ。違う事を勉強して来い」と言われたのですが、根っからの勉強嫌いでしたから秩父では遊ぶ事ばかりして参りました。その後、父に「家の仕事を手伝え」と言われ、材木屋をやっていたものですから、父の後、材木屋を手伝ったわけです。3年位はぐだぐだしてました。たまたま父が付き合った、調布・深大寺の「富沢造園」にお世話になり始め、そこで、私の人生を一番変えて頂きました。

当時は東京湾の埋め立てが盛んで、埋め立てをするとすぐに大きな植木を植えました。私のところでは植木の支えになる支柱を使って頂いており、一週間に何回も、国会議事堂の前を通過して、東京湾まで丸太を運びました。日本でもトップ10に入る造園会社が元請けとして関わっていたものですから、朝早く、混む前に現場まで行って、元請けの現場監督、私より4つ位上の先輩が来られるまで待っていて、荷を下ろしてサインをもらって帰って来るといふ仕事をしていたわけです。今までずーっとそういう方々のお世話になっていて、今なお当時の監督とは交流をもっております。

私の住んでる所は山の中でしたが、ただ、いつにかこの住んでる所が「宝箱」になるという思いをずっともち続けて現在まで来ました。そして今、それが可能な時代になりました。非常に夢もっています。

「富沢造園」でもう1つ、自分を大きく変えて頂いた仕事があります。田中角栄氏がロッキード事件で失職した後、池の改修に2週間程お邪魔しました。田中角栄さんを最初拝んだ時は声が出ませんでした。雲の上のような存在で、ただ2週間毎日通っていろいろな事を教えて頂いたり、喋って頂きました。その時の言葉は「語録」にも載っています。仲間からは「ウソつくな」と言われましたが、この方の生き様に触れ、いろいろな話をして頂いた事で、自分は変わらせて頂いたと今でも思っております。長岡の田中角栄記念館にも行きましたが、これだけの人に巡り会えたのも自分の親父がたまたま「富沢造園」といふ会社にお世話になったお蔭だと思っております。

今現在、自分が日々思っている言葉は「お蔭様で」といふ、このひと言。そして「一期一会」、もう一つ「日々一生懸命」。自分は常にこれを忘れず、何とかこれからも頑張っていきたいと思っております。

今年64になりますが、気持ちは三十路を終えて四十路にちょっと入った位。そういう気持ちでいつも居ります。ですから常に女性を見る時も新鮮なまなざしで見させて頂いております。

やっとならば宝箱が宝箱になりつつある時代を迎えて非常にこれから楽しい時代が来ると思っております。是非皆さんのご理解を頂きながら、長いお付き合いをさせて頂きまふよう心よりお祈り申し上げます。自己紹介とさせていただきます。